

第十七節 言語

凡例

語彙の排列は主として五十音によった。
 鼻音は「▲」印。
 アクセントの高音は、「―」で、あるが、二通りあるのには左右に印をし、低音は「レ」印。
 拗音・促音等は小文字を使用した。

あ	あ	あ	あ
ああ	ああ	ああ	ああ
ああや(お、ちて、と参照)父または兄	ああ	ああ	ああ
あや	あや	あや	あや
父	父	父	父
あい	あい	あい	あい
あゆ	あゆ	あゆ	あゆ
あゝいでえでえああ痛い	あゝいでえでえああ痛い	あゝいでえでえああ痛い	あゝいでえでえああ痛い
あうえ	あうえ	あうえ	あうえ
青い、青色	青い、青色	青い、青色	青い、青色
あえきたつ	あえきたつ	あえきたつ	あえきたつ
物をなげ渡す時のかけ声	物をなげ渡す時のかけ声	物をなげ渡す時のかけ声	物をなげ渡す時のかけ声
あえこ	あえこ	あえこ	あえこ
同じ、同等	同じ、同等	同じ、同等	同じ、同等
あえもの	あえもの	あえもの	あえもの
あえたもの	あえたもの	あえたもの	あえたもの
あおだぶぐべ	あおだぶぐべ	あおだぶぐべ	あおだぶぐべ
青い瓢箪、転じて青白くて弱々しい人、喧嘩等あざけりことば	青い瓢箪、転じて青白くて弱々しい人、喧嘩等あざけりことば	青い瓢箪、転じて青白くて弱々しい人、喧嘩等あざけりことば	青い瓢箪、転じて青白くて弱々しい人、喧嘩等あざけりことば
あおだんこ	あおだんこ	あおだんこ	あおだんこ
青白くて弱々しい人	青白くて弱々しい人	青白くて弱々しい人	青白くて弱々しい人
あおつば	あおつば	あおつば	あおつば
青物、野菜類の総称	青物、野菜類の総称	青物、野菜類の総称	青物、野菜類の総称
あおば	あおば	あおば	あおば
青物、野菜類の総称	青物、野菜類の総称	青物、野菜類の総称	青物、野菜類の総称
あおものや	あおものや	あおものや	あおものや
八百屋	八百屋	八百屋	八百屋
あが	あが	あが	あが
垢	垢	垢	垢
あがしえんこ	あがしえんこ	あがしえんこ	あがしえんこ
銅貨	銅貨	銅貨	銅貨
あがす	あがす	あがす	あがす
ともしび、そうそく	ともしび、そうそく	ともしび、そうそく	ともしび、そうそく
あがすこ	あがすこ	あがすこ	あがすこ
〃	〃	〃	〃
あがす	あがす	あがす	あがす
仏にあげる小さなローソク	仏にあげる小さなローソク	仏にあげる小さなローソク	仏にあげる小さなローソク
あがす	あがす	あがす	あがす
ともす	ともす	ともす	ともす
あがたぐれ	あがたぐれ	あがたぐれ	あがたぐれ
赤むけ、山の赤禿	赤むけ、山の赤禿	赤むけ、山の赤禿	赤むけ、山の赤禿
あがだぐれ	あがだぐれ	あがだぐれ	あがだぐれ
〃	〃	〃	〃
あがちやげる	あがちやげる	あがちやげる	あがちやげる
褐色になる	褐色になる	褐色になる	褐色になる
あがつこ	あがつこ	あがつこ	あがつこ
卵の黄身	卵の黄身	卵の黄身	卵の黄身
あがつす(ね参照)粘土	あがつす(ね参照)粘土	あがつす(ね参照)粘土	あがつす(ね参照)粘土

あがつてくねえ <small>さい</small>	あがつてくねえ <small>さい</small>	あがつてくねえ <small>さい</small>	あがつてくねえ <small>さい</small>
あがつてくねえ <small>さい</small>	あがつてくねえ <small>さい</small>	あがつてくねえ <small>さい</small>	あがつてくねえ <small>さい</small>
あがてくねえ	あがてくねえ	あがてくねえ	あがてくねえ
あがばすける	あがばすける	あがばすける	あがばすける
あがはら	あがはら	あがはら	あがはら
あがびき	あがびき	あがびき	あがびき
あがびつき	あがびつき	あがびつき	あがびつき
あがほ	あがほ	あがほ	あがほ
あがべ	あがべ	あがべ	あがべ
あがめえてえ	あがめえてえ	あがめえてえ	あがめえてえ
あがめえてえ	あがめえてえ	あがめえてえ	あがめえてえ
あがめえてえ	あがめえてえ	あがめえてえ	あがめえてえ
あがめはだげる	あがめはだげる	あがめはだげる	あがめはだげる
あがらさま	あがらさま	あがらさま	あがらさま
あがりつば	あがりつば	あがりつば	あがりつば
あがりみ	あがりみ	あがりみ	あがりみ
あがれ	あがれ	あがれ	あがれ
あぎいいえ	あぎいいえ	あぎいいえ	あぎいいえ
あぎいさし <small>え</small> ね <small>え</small> あぎさせない	あぎいさし <small>え</small> ね <small>え</small> あぎさせない	あぎいさし <small>え</small> ね <small>え</small> あぎさせない	あぎいさし <small>え</small> ね <small>え</small> あぎさせない
あぎいずみ <small>え</small>	あぎいずみ <small>え</small>	あぎいずみ <small>え</small>	あぎいずみ <small>え</small>
あぎいた	あぎいた	あぎいた	あぎいた
あぎいたこ	あぎいたこ	あぎいたこ	あぎいたこ
あぎいたま	あぎいたま	あぎいたま	あぎいたま
あぐ	あぐ	あぐ	あぐ
あぐぎ	あぐぎ	あぐぎ	あぐぎ
あぎいだ	あぎいだ	あぎいだ	あぎいだ
あぎいだ	あぎいだ	あぎいだ	あぎいだ
あぎいど	あぎいど	あぎいど	あぎいど
あぎいんど	あぎいんど	あぎいんど	あぎいんど
あぎいねえ	あぎいねえ	あぎいねえ	あぎいねえ
あぎいび	あぎいび	あぎいび	あぎいび
あぎいびこ	あぎいびこ	あぎいびこ	あぎいびこ
あぎいぶるめえ	あぎいぶるめえ	あぎいぶるめえ	あぎいぶるめえ
あぎいべえ	あぎいべえ	あぎいべえ	あぎいべえ
あぎいれけえるあぎれる	あぎいれけえるあぎれる	あぎいれけえるあぎれる	あぎいれけえるあぎれる
あぐ	あぐ	あぐ	あぐ
あぐえろ	あぐえろ	あぐえろ	あぐえろ
あぐく・あぐく犬をけしかける語	あぐく・あぐく犬をけしかける語	あぐく・あぐく犬をけしかける語	あぐく・あぐく犬をけしかける語
あぐし <small>よん</small>	あぐし <small>よん</small>	あぐし <small>よん</small>	あぐし <small>よん</small>
あぐだれ	あぐだれ	あぐだれ	あぐだれ
あぐどたがり	あぐどたがり	あぐどたがり	あぐどたがり
あぐでえ <small>つぐ</small> 悪態の転	あぐでえ <small>つぐ</small> 悪態の転	あぐでえ <small>つぐ</small> 悪態の転	あぐでえ <small>つぐ</small> 悪態の転
あぐでえもぐでえ悪口雑言	あぐでえもぐでえ悪口雑言	あぐでえもぐでえ悪口雑言	あぐでえもぐでえ悪口雑言
あぐど	あぐど	あぐど	あぐど
あぐど	あぐど	あぐど	あぐど
あぐど	あぐど	あぐど	あぐど
あぐどたがり	あぐどたがり	あぐどたがり	あぐどたがり
あぐとうす	あぐとうす	あぐとうす	あぐとうす
あぐとす	あぐとす	あぐとす	あぐとす
あぐとす	あぐとす	あぐとす	あぐとす
あぐとす	あぐとす	あぐとす	あぐとす
あぐねる	あぐねる	あぐねる	あぐねる
あぐび	あぐび	あぐび	あぐび
あぐらかぐ	あぐらかぐ	あぐらかぐ	あぐらかぐ
あぐらかぐ	あぐらかぐ	あぐらかぐ	あぐらかぐ

あげえ	赤い、赤色(あげえぶるなる)	あさつばら	早朝	あしえぼ	あせも
あげえつ・さげえつ	見上げ見下ろし	あさつべえねえ	浅はかだ、あつさりしすぎる、手筈がない	あしえる(ねえ)	合せる、相槌を打つ、くつつける
あげえめ	血	あさべえねえ	〃	あじや	あざ
あげえぼ	幼児の美しい着物	あさながす	子供の朝食前に食べるこ	あんじや	〃
あげおろす	供膳撤膳	あさねこぎ	朝ね常習	あす	足
あげず	しおからとんぼ	あさねぼ	朝ね	あず	味
あげたがわす	案の定	あさま	朝、明朝	あず	暑い、厚い(つらのかわあず)
あんげたがわす	〃	あさまかだ	夜明け方	あすあげ	踏台
あけらぼんと	ぼかんと、予想外	あしえ	汗	あすあす	近日中
あつけらぼんと	〃	あしえ	副食物	あすえ	浅い、朝飯
あけん	〃	あしえこ	〃	あずがう	銅う
あげる	うがつ、開く、注ぎ入れる、まかす	あしえもの	〃	あずがる	あずかる
あげる	上げる、嘔吐	あしえたらす	汗をか	あずがる	あつがる
あこ	よそ、あそこ、よその家(幼児語)	あしえたらす	汗を流し易い者	あずぎだえろ	芋虫のるい
あっこ	〃	あしえでく	合せて食べるよ、食べる	あずぎばつと	小麦粉をこねて小豆汁にちぎって入れた食物
あさずけ	大根漬	あしえでぐ	合せて行く	あずぎま	赤飯
あさつてのほう	見当ちがい	あしえど	合せ砥石	あずきみす	〃

あずぎもず	小豆餅	あすのごうら	足の甲	あんななやず	〃
あんずぎもず	〃	あすのへら	〃 べらひらの転	あなたに	あのように
あすくた	ああ、しまった	あすばだらぎ	幼児のただをこねる	あんなに	〃
あずけえねえ	味がない、塩分不足	あずばる(れ)	集る	あだま	頭、帽子
あんずけえねえ	〃	あすばれえ	足払い	あだまかる	理髪する
あすこ	あそこ	あすびこ	一青年間に行われる休日のこと	あだまごなす	がみがみ叱りつける
あすこみる	味わう、ためしてみる	あすびやぐ	遊び役、道楽者	あたら	新しい、新しいもの
あんつこみる	〃	あすぶ(ばねえ、べ)	遊ぶ、仕事をしないこと	あたらもの	大切なもの、もったいな
あすこど	心配ごと	あすぶぎ	足ふき	あつたらもの	〃
あんつこど	〃	あすべる	集める	あたりばず	すり鉢
あすた	明日	あすらぐ	預る、注文する	あたりほどり	周囲
あすだす	思い出す	あすれえる	〃	あだる	中風にかかる、火にあたる、中毒する
あすたのばんげ	明晩	あする	案ずる	あつ	あちら、暑い
あすたれえ	洗足たらい	あそごら	あそこの辺り	あつ	〃
あす・つで	足ついで、途次	あだあ	後は、その次は	あつきふか	あつきふか ^か げる悪気を吐きかける
あすつらす	暑い思いをする、平気の平在	あだてける	こたつ等にあたれ	あつきら・あつきら	動物の弱った様、臨終の場合
あすなが	あしなが蜂	あたなやず	あんな奴	あつきら・しやしつきら	〃

あつきらめぐ	〃	あつばしゆ	自分の妻を他人の前でいう卑称	あどすりかまる	人の跡のみを追って歩く
あつけえねえ	淡い、物足りない	あつべえ	あかめ、悪口をいう時に使う	あどのげえり	次の時
あつこつ	あつちこつち	あつべえすら	間のぬけた顔	あどばら	後妻の子
あつこつ	〃	あでえ	価(あでえある、あでえねえ)	あどぼう	後を追う
あつさ	あちらの方へ	あでごじえ	行きましようよ(尊称)	あなほり	墓穴を掘る人
あつちや	〃	あんでごじえ	〃	あなんこ	穴
あつさ	〃	あでずつぼう	でたらめ、目茶苦茶、無方針	あに	兄、家督を相続すべき若者
あつたぎえ	暖かい	あでつぼう	〃	あにき	〃
あつたて	あつたとしても	あでぼなす	〃	あぬ	〃
あつたな	あのような	あでの	行く	あんに	〃
あつたな	〃	あんでの	行く	あにす	兄嫁が夫を尊んで呼ぶ呼び名
あつたらごと	おしいこと	あでる	着用する(はら)である(命中する)当てる	あによめ	兄嫁
あつたらもの	おしいもの	あどあねえ	しこりが無い	あねえ	長女
あつちやとでた(は参照)ほととぎす		あどじえ	一緒に行きましよう	あねこ	年頃の娘、新嫁
あつばお・か参照)母・妻		あどすじやり	座ったまま後へさがる	あねっこ	〃
あつばあ	〃	あどすじやり	〃	あねこつかう	平生に相違して表面をよく見せる
あば	〃	あどすめえ	後始末	あねさん	若妻の尊称

あのみ	あのお	あぶらうり	なまけ者	あべであ	(さそう意味を含めて) 行こうよ
あのみやま	あのみま	あぶらけ	脂こい	あへる	合せる
あのみずぎ	あのみき	あぶりご	焼きがね	あべる	水泳する
あのみす	あのお、呼びかけ語(尊称)	あぶる	魚を焼く、温める	あま(お・こす参照)祖父あるいは老人	
あのみつす	〃	あぶれる	自暴自棄になる	あま	〃
あのみやあ	〃	あべ(い参照)	行こう	あまな	老人(尊称)
あのみご	あればかり	あんべ	〃	あまされがぎ	もてあましの子
あのみんこ	〃	あべえ	あるだろう、塩梅	あまされもの	〃 者
あのみたす	あの人達	あんべえ	〃	あますけ	甘ずっぱい
あばいび	親指	あべええ	気持がよい、塩梅がよい	あますこ	あま酒
あばえ	さようなら(あばえ、こんこん、まだくらな)	あべえが	確かにあるだろう	あまだ	大勢
あんばえ	さようなら(左様ならばお別れしよう)	あんべえが	〃	あまだれえ	甘い
あひろ	あひる	あべえすか	あるでしょう	あまつけ	〃
あぶぐ	泡	あべえつとす	歴然とする	あめえ	〃
あわぶぐ	〃	あべえとす	〃	あまちやこ	わざと負ける
あぶなぐ	危く、辛うじて	あべえわる	身体具合が悪い	あまちやら	かるはずみ、軽く考える
あぶねえ	危い	あんべえわる	〃	あまりがげえだ	余りひどい

あまりげえだ	余りひどい	あやまず	怪我、失策	ありがど	ありがとう
あんまりがげえだ	〃	あや・や・あど	これはこれは、まあまあ (婦女子)	ありがどがんす	有難う御座います、又 はました
あんまりげえだ	〃	あや・や・や	〃	ありこず	蟻の巣
あまりぼどげ	五百羅漢から転じて厄介者	あら	落度、欠点、魚の身除きの部分	ありや	あれは
あめいぎ	みぞれ	あらがう	からかう	ありや	失敗した時に発する語で これは
あめがじえ	雨風	あらがだ	あらまし	ありやありや	これはこれは、あれあれ
あめくしえ	くさった匂い	あらぎ(おごす)	開墾	ありやすすぎ	洗濯
あめこ	駄菓子 <small>の総称</small>	あらぐ	あらがう	ありやすたり	これはまあ
あめでえ	(船代程の)少しの金銭	あらびる	子供がだだをこねる	ありやまんつ	あらあら
あめふりばな	ほたるぶくろ	あらこなす	収穫の大部分終了	ありやもの	洗いもの
あめる(ねえ)	くさる	あらつべ	粗大	あれぐ	歩く
あや	ああ(古語)	あらべ	〃	あるくれえ	ある位
あやえであ	これはこれは非常によい 婦女子が使用する(自分)	あらなあ	あるではないか	あるじえ	あるではないか
あやえであなあ	これはこれは非常によい 婦女子が使用する(他人 をも含める)	あらね	あられ	あるじえ	確かにあるぞ
あやがる	労力・金銭を借しむ	あらばず(わる)	処女	あるす	あります
あやずりこ	人形芝居	ありあしえ	有合せ	あるす	あるそうだ
あやて	あのようにして	ありやど	彼ら	あるすか	ありますか

あるつたげ	ある限り	—あんす	あります(故語) (そだあんす)	いえそえ	がよい
あるども	あるけれども	あんたな	あんな	いえた(こ)	すきま、あいだ
あるべえが	あるだろう	あんばら	肋骨	いえて(や参照)	相手
あるものずげえ	浪費	あんべえみ	味をみる	いえてこ	／＼
あれあ	あら	あんべえみに	試みに	いえどす	同じ年
あれえ	粗い、荒い、洗え	い		いえどれえ	こねどり
あれえあれえ	あれあれ			いえんどり	餅つき中白の中の餅をこねる人、又、程よく仲をとりもつ
あれすぎ	あいつ			いえな	長兄、若旦那
あれぼり	あればかり	いえおなご	美人、器量婦人	いえなこ	幼少の兄
あわえ(こ)	あいだ、谷間、露路、細	いえさつ	挨拶	いえなさん	若主人
あわえに	たまに	いえさまだ	いきみだ	いえべ(あ参照)	行こう、歩みの転
あわくた	慌てた	いえざまだ	／＼	いえま(に)	合間
あわげえねえ	淡い	いえじやまだ	／＼	いえまず	あやまち
あわばな	おみなえし	いえじえぎ	田と田の間の溝	いえらすぐねえにくらしい	
あわまぎ	家庭における舅の不倫	いえず(ら)	あれ(ら)	いえんでぶじえ	参りましようよ
あわまぐ	／＼	いえずばり	あればかり	いがりみず(え参照)	洪水
あんけぬがす	ぼんやりする	いえそ	愛想	いがる(え参照)	氾濫する

いぎ(ぎ)えゆ参照(雪)	いぐべ(す)え参照(行こうよ)	いずぱり(え参照)強情者
いぎ(ぎ)え参照(息)	いぐべ(す)な() (念をおす)	いずばん(ご) (一番草)
いぎあ(う)えゆ参照(行き合う)	いぐべ(で)え ()	いずめ(え) (一枚)田や紙等の枚数)
いぎあ(わ)る(え参照)新鮮さが無い	いげ() (湯気)	いずも(か)ずも() (何時も何時も)
いぎぎ(ぶ)す() (呼吸困難)	いげる() (埋める、行く事が出来る)	いずら(ぐ) () (度々、常々)
いぎし(え)ぎ(ま)る() ()	いご(ゆ)参照(湯)	いだ(ぐ)す() (怪我をする)
いぎす(ぐ) () (行き届く)	いし(え)る(え参照)怒る	いだ(こ) () (坐女)
いぎす(な)だ() (行きがけに)	いじ(や)ふ(た) () (雪が降った)	いだ(す)が(る) () (惜しがる)
いぎす(む) () (威張る)	いし(よ) () (着物)	いだ(ず)ら() () (いたすら)
いぎつ(ぐ) () (呼吸する)	いし(よ)が(す) () (忙しい)	いだ(の)ま() () (床板の部分)
いぎなり() (突然、むちや、急、無謀にも)	いず() () (窮屈)	いだ(ふ)ぎ() () (ふき掃除)
いぎば(る) () (りきむ)	いず(く)さ(れ) () (意地悪)	いだ(ま)す() () (もったいない、おしい)
いぎみ() () (尻、陰部)	いず(く)つ(て)え () (えごい、窮屈だ)	いだ(み)た() () ()
いぐ(が)ね(え)きて(え)ゆ() () (行く)	いず(く)て(え) () ()	いだ(わ)す() () ()
いぐ(ざ)ん() () (戦い)	いず(げ)ら(え)る(で、ね)た() (え参照) 言いつけられる	いだ(わ)す(ね)え () ()
いぐ(ね)え(えゆ参照)よろしくない	いず(げ)る(ね)え() (え参照) 言いつける、依頼する	いつ(つ)に() () (とうに、前に)
いぐ(へ)え(え参照)行こう	いず(だ)り(か)ず(だ)り() () (不定時)	いつ(つ)も() () (何時も)

いっとうしよ <small>(え参照)</small> 一等賞	いび <small>(ご)</small> 股のつけ根の淋巴腺のは	いわがんくら 岩のがけ
いっとうま <small>(ご)</small> 一寸の間	いの <small>(ぬ)</small> 命	いんがたがり 不幸者
いっぺえ <small>(え)</small> 沢山、一杯	いび 指	いんど・いんど <small>(し参照)</small> じゃんけん
いっぺえみす <small>(え)</small> 一杯飯	いびる <small>(え参照)</small> いじめる、干魚をあぶる	
いでえ <small>(え)</small> いたい	いびわ ゆびわ	
いでえが <small>(え)</small> いたいか	いびん <small>(ゆ参照)</small> 郵便	う
いでえかゆ <small>(え)</small> いたくてかゆい	いびんちよぐ <small>(え)</small> 郵便局	うう
いでえすか <small>(え)</small> いたむか <small>(敬語)</small>	いぶり <small>(え参照)</small> 田面ならし	うううん いやそうではない
いでえつらす <small>(え)</small> 痛い思いをする	いぶりくしえ ひなくさい	ううん 否
いと <small>(ご)</small> 糸	いまねえころ 今頃	うえか 上、上の方、表
いとぎ <small>(ご)</small> 一緒に	いめす <small>(ゆ参照)</small> 夕飯	うえなおす 植えなおし
いとぎりば <small>(ご)</small> 犬歯	いもの <small>(ご)</small> <small>(え参照)</small> さといも	うえぼそ 種痘
いとご <small>(ご)</small> いとこ	いあんべえ <small>(え参照)</small> いらんない	うええぼそ 〃
いとど <small>(ご)</small> もとより	いらねえ <small>(え参照)</small> いらぬ	うぎだ <small>(る)</small> 浮いた
い <small>(に)</small> <small>(え参照)</small> 犬	いらねえ <small>(え参照)</small> いらぬ	うぎふ やきふ、小麦粉のもち
いのがねえ <small>(え)</small> 動かない	いり 百合	うごぎ 五加木
いの <small>(ぬ)</small> 動く	いるべ <small>(え)</small> <small>(え参照)</small> 居るだらう、要るだらう	うげえ 鵜飼

うげる	受取る、卸屋から買入れ	うすばがけに	小馬鹿に	うだわねえ	歌わぬ
うさ	兎	うすぼぎ	打帚	うったず	作業開始
うさぐら	不明瞭	うすまぎ	旋風、旋毛	うっちゃやうっちゃ	よろよろ
うさねえへ	えだ 大骨を折った	うすら	うすうす	うっちゃめがす	よろよろする
うさんくしえ	うたがわしい	うすろこど	後頭部	うってえる	訴える
うじゆぐす(お参照)	美しい	うすろけえ	後方	うつとごしよ	掛声
うずぐす(〃)	〃	うずわ	内輪	うで	頭がにぶい、関係がうすい
うず	家、家庭	うずわ	風扇	うどえ	〃
うずうる	伝染する、移転する	うそたれまげ	嘘つき	うでえ	うたい(ようきよく)
うずる	〃	うそつぐ	嘘をいう	うでえ	うたえ
うずぐ	伝染す	うそまげる	〃	うてる	気おくれする
うずくまる	かがむ	うそぼらす	うそらしい	うてずげだ	ふさわしい
うすけ	うすい	うだうべえ	歌おう(きそう意)	うど(こ)	洞窟、木の穴、中が空なこと
うすす	うつす	うだうべえな	歌おう(きそわれたから)	うど	うこぎ科の多年草
うすず	くろ血	うだうべす	歌おうよ(一緒に)	うどず	籠字
うすだまてろ	だまっている	うだぐる	うたがう	うなず	うなじ、首の後
うすのつ(き参照)	牛乳	うだこ	民謡	うぶぎれる	そば等時間の経過と共に切れ切れなる(ん参照)

うふん	人を小馬鹿にした返事	うる	うるか(鮎の腸の塩漬け) 子葉植物のツルボラン科	うんでえ	そうだその通りだ
うまぐねえ	おいしくない	うる	売る	うんでえさ	そうだとみえて
うまぐねえ	上手でない、具合が悪い	うるがす	水や湯に浸してふくらませ柔かにする	うんでえまだ	〃
うまつこ	馬、あめんぼう	うるげる	水を含んでふやける、なまける	うんと	沢山、非常に、大勢
うまれぞぐなり	生れながらの不具者	うるす <small>すえ</small>	うるさい	うんとだけ	〃
うまれそぐねえ	〃	うるす	うるし	うんともすんともやねえ <small>少しも音沙汰なし</small>	
うむ	熟す、化膿する	うるす	うるし	うんなあ	そうか、そうだ
うむす	蒸す	うるすかぶれ	うるしい	うんにや	そうではない
うめえ	おいしい、上手だ	うるだぐ	狼狽する		
うめえこ	お菓子	うるでえ	〃	え	家、宅
うめえもの	おいしいもの	うるでえつんまぐる	〃	え	よい、美しい、沢山だ、もう十分だ
うめぼどぎ	うめもどぎ	うるでえつんまぐる	〃	え	よろしゅうございます
うら	端	うるめぐ	うるうるする	えあす	
うらこ	梢、物の先	うん	そうだ(相違って)	えあべえだ(に)	好都合だ(に)
うらっこ	〃	うん	何?	えあんべえ(だ)	よいあんばい、よい味、具合がよい
うらすま	百日草	うんだ	うんだ(や・ん参照) いやだ	え・え	もう十分だ、その通りだ
うらねえ	売らない、占い		そうだその通りだ		

ええ	なんですって	えがつしえ	いきなさい	えがべ(よ参照)	よいだろう
ええ・ええ	相手を馬鹿にする発声	えがす	行きますよ	えがべじや	〃
ええごとすた	よいことをした	えがた	よかった	えがべであ	〃
ええでば	よいというのに	えがった	〃	えがべえな	よいだろう
ええどうす	家内同志、いとこ	えがただぎ	いかの塩辛	えがべな	〃
ええどす	〃	えがであ	よいか、よいだろうか	えがべが	よいだろうか
えどす	〃	えがにも	何としても、その通り	えかほぎ	いかいかする
ええなりす	よいふりをする	えがねえ	行かぬ	えかまか	股に何かはさめたような 歩き方
ええふりす	〃	えがねえじや	〃	えつかまつか	〃
ええもの	よいもの、立派なもの	えがねえであ	〃	えがむ	いがむ
えが	いか	えがねえが	行かぬか	えかめぐ	いかいかする
えが	よいか、気持がよいか	えがねえがな	行こうか行くまいか態度 不明	えがらえがら	遠慮するさま
えがくりあだま	いが栗頭	えがねえすか	行きますせんか	えがらえれる	よく思われる
えがけ	よかった	えがねえすて	え行きますせん(普返)	えがらけ	えぐい
えがげ	鋤物師	えがねえます	〃 (尊称)	えがらぺえ	〃
えがさま	その通り	えがねえはえ	行かぬ方がよい	えがりみず(い参照)	洪水
えがしえ	行きなさい	えがねえばねえ	行かなければならない	えがる	心地よがる

えがる <small>(い参照)</small> 氾濫する	えきなる 傲慢ぶる、自慢ぶる	えぐなであ 行つてはならぬぞ
えがわ 縁側	えきになる	えぐなる <small>(ゆ参照)</small> よくなる、癒える、情を通じる
えがんす よろしゅうぐいします	えきばる <small>(い参照)</small> きばる	えぐね <small>(い・ゆ参照)</small> よくない
えます	えつきばる <small>(い参照)</small> 〃	えぐべえ <small>(い参照)</small> 〃
えぎ <small>(い・ゆ参照)</small> 雪	えきみ <small>(い参照)</small> 陰部、尻	えぐべす <small>(い参照)</small> 行こうよ
えぎ <small>(い参照)</small> 息	えきみだ それみよかし	えぐべすな <small>(い参照)</small> 〃 (行こうよ念をおす)
えぎあう <small>(い・ゆ参照)</small> 行き合う	えぐ <small>(がねえ、がねえが、でえ、きたくねえ、げ)</small> <small>(い参照)</small> 行く	えぐべであ <small>(い参照)</small> 〃
えぎあわる <small>(い参照)</small> 新鮮さがない	えぐ よく	えくりえにし <small>(い参照)</small> えそれ位にしてよせ
えぎえき 横へいな態度	えぐが 行こうか	えげ 罵る接頭語と行け
えぎきらす <small>(い参照)</small> 呼吸困難	えぐがな 行こうかな <small>(態度不明)</small>	えげえくす <small>(い参照)</small> 腐敗したものでむっと胸をつく
えぎしえぎきる <small>(い参照)</small> 〃	えくさん <small>(い参照)</small> 戦争	えげからずれ ひどくずるい
えぎしえぎめ <small>(い参照)</small> 〃	えぐ <small>(い参照)</small> 行くぞ	えげざがす ずるい
えぎす <small>(い参照)</small> 〃 (行き届く)	えぐずなす 臆病者	えげす 生糞
えぎすな <small>(い参照)</small> 〃 (行きがけに)	えぐだ 行った方がよい	えげすかねえ 好かぬ
えぎすむ <small>(い参照)</small> 〃 (威張る)	えぐてが 行くというのか	えげずれ ひどくずるい
えぎつく <small>(い参照)</small> 〃 (呼吸する)	えぐつてが 〃	えげぞんじえ 非常に物を粗末に扱う
えぎなり <small>(い参照)</small> 〃 (無謀にも、突然、むちや、急に)	えぐな 行くな	えげぞんずえ 〃

えげつてば	行けというのに	えしえつっぱる	強情をはる	えすから	石の多い地
えげどららぐ	道楽者	えしえる(い参照)	おこる、鳥が卵を抱く事	えすきり	石けり
えげのぶで	ひどく図太い	えへる	〃	えずぐ	嘔気をもようす
えげる(い参照)	行くことが出来る、埋める	えしや	医者	えずぐ	ざる田を田かきして泥々にした土が、すぐに固まった状態をいう
えこ	小さな家	えじや	よいよ、いいよ	えずぐ	落着く、おさまる
えぬ(い参照)	動く	えしよ	着物	えずくされ(い参照)	意地悪者
えごだ	よいだろう	えしよがす(い参照)	忙しい	えずぐす	魚の胸びれのある部分の切身、一番始めのくし
えごつた	〃	えしよます	一升枧	えずくつてえ(い参照)	えごい、窮屈だ、気に入らない
えさえぐ	家へ行く	えす	石	えずくてえ(〃)	〃
えさばや	魚屋	えず(い参照)	窮屈、目に埃が入った時等	えずくる	もてあそぶ
えさま	いい気味	えずい(〃)	〃	えずる	〃
えさまくらた	よい態だ	えんす(〃)	〃	えずげらえ(れえ(い参照))	いいつけられて
えさまだ	いい気味だ	えずあきても	いっになっても	えずげる(〃)	いいつける、依頼する
えさまだ	〃	えずえす	いちいち	えずこ	保母器
えさる	いざり	えすか	よいか	えつこ	〃
えじやり	〃	えずが	いつか	えずこくたず	保母器に入れるわら屑
えさゆわえに	よい幸に	えずがが	いつかきと	えずだ	意地が強い